



おはなし職人

吉田 いくよ

日本を楽しい国にしよう
明るい国にしよう
国は小さいけれど
住みよい国にしよう
日本に生まれてきてよかったと
言えるような
国造りをしよう

これが二十一世紀の日本への

わたしの願いだ

仏教詩人 坂村真民

戦争や事件事故、が毎日のように起こっている
昨今に憂えています。そんな時にこの詩を思い出
しました。日本を楽しい国にしよう、明るい国に
しよう。シンプルだけどスツと胸に響く言葉でし
た。そのためにも私たち人間の日々の生き方が、
明るい気持ちで楽しく生きることが大切だと思
います。ジュリアスシーザーの特色はいつも上機
嫌だったことだそうです。「上機嫌」で日々過こ
す、何と素敵な生き方でしょう。日々「上機嫌」
を心掛けていきましょう。「上機嫌」とは非常に機
嫌が良い状態の事。「機嫌」とは表情や態度に表れ
る気分や気持ち、感情の事です。上機嫌でいると
メリツが沢山あります。気分が上向きで、気分
がハッピーになる。寛容になれる。自然と心が広
くなり他人の気持ちに寄り添うことが出来る。枝
葉末節なことを気にしてイライラすることもな
くなりません。場の雰囲気良くなる。なんだか明
るくて楽しい雰囲気になります、そうすると自然
に多くの人が集まってくるので良い環境を作り
ます。仕事のパフォーマンスが上がります。モチ
ベーションが上がるので仕事のパフォーマンス
も上がります。

自分の気持ちを上機嫌でいるためにコントロ
ールするのは難しくもあります。「行動を調整す
ること」で心がついてくる」という心理学者の言葉
があります。ですから話し方や表情を明るくする
よう心がけたり、笑顔を保つ努力をすることも力
になります。心と体はつながっているのです、初め
に態度を整える事で次第に心にも影響してきま
す。上機嫌でいることは自他ともに良きこと。
日々、上機嫌で過ごすことを身に付けてみましょ
う。上つ面だと思いかもしれませんが、意識して
行ってみると効果絶大です。

今年の年間テーマは：駆ける

馬編の漢字（駆・駒・駐・駿・驚・驕・
馳・憑・駅・騎）をテーマにお届けします。

今月は【驚】

菅野 彩美

二年前、初めて「アカペラ」そして「YouTube 番
組」のお仕事を経験させていただき、初めて飛び込
んだ世界に驚きがいっぱいでした。皆さんは、アカ
ペラを見たり聴いたりしたことはありませんか？
アカペラとは、楽器を使わずに声だけで音楽を奏
でるスタイルです。イタリア語で「礼拝堂（教会の
風）」を意味し、ルーツである教会音楽で楽器の使
用が制限されていたことに由来しています。基本的
な編成は「リードボーカル」「コーラス（ハモリ）」
「ベース」「ボイスパーカッション（ボイパ）」の四
つのパートに分かれ、それぞれが重要な役割を担っ
ています。これら五十六人程度で構成されるのが一
般的ですが、人数やパートの割り当てはグループの
自由度が高いのもアカペラの魅力です。基本的には
皆さんアーティストのカバー曲を演奏されるので
すが、アレンジも自由自在なので、それぞれのバン
ドのコンセプトに合わせて、ポップにもバラードに
もなり、同じ楽曲でも全く違う曲のように聞こえる
ので、聴いていて本当に楽しいです。

私が進行役をさせていただいた「アカペラ温泉」
という YouTube 番組は、事前に「応募いただいた
動画を五人の審査員とともに視聴して、お茶の間で
観ているかのようにゆったり語り合う内容です。た
だ審査員も音楽のプロ。RAG FAIR 引地洋輔さん
全国ハモネプリーグで優勝経験のあるたむらろ
阿部さん、ボイパのレジェンド Mat さん、オスコ
ピカロ吉田さん、まこみなのみなみさん。豪華な顔
ぶれなんです。アカペラの知識が全くないまま始ま
った企画だったのですが、応募された動画も個性豊
かな音色で、全グループに違うコメントが自然と出
てきたことが驚きでした。心を奪われるアカペラの
世界。ぜひ一度番組を視聴していただけると嬉しい
です。この YouTube 番組をきっかけに様々なアカ
ペラのお仕事に携わることができました。アカペラ
のご縁は深いなあ…と感じたこともまた驚きです。

吉田 絵里奈

最近、結婚式に出席しましたか？

四月に五年ぶりに結婚式に出席しました。
やっぱ結婚式っていいな♡お呼ばれすると毎回
そう感じます。自分が結婚式をする際に、一番うれ
しく感じたのは、自分の為に自分の大好きな人がこ
んなに集まってくれること。こんなにうれしいこと
はありません。

先日驚いたことがあります。「結婚式にブーケ投
げるのって、本当にやるんですか？！」と。二十代
前半の方とお話しする機会があり、驚く質問をされ
ました。「ブーケ」とかで出てくる動画では見たことあ
るけど本当にブーケ投げるのってするんですね。
と。少し前まではほとんどの方がする演出でした
よ！！！！感じた私。弊社では結婚式の司会の仕事を
させていただいているので、若い方が結婚式ってど
んなものだと感じているのか、是非もつと聞かせて
と、思わず前のめりになりました。その方は、小さ
いころに親戚の結婚式に出た経験しかないそう。結
婚式に呼ばれる経験がないから、結婚式に対する
「あこがれ」というものを抱く場もないのか…と感
じました。いつか自分も…と結婚式があこがれのも
のという概念が薄れている昨今、結婚式の良さを知
る機会が減ってしまっていることが原因であれば
寂しいと感じた驚きの出来事でした。

話は変わって、郡山商工会議所青年部に所属して
六年が経ちました。今年度は研修委員会の委員長を
務めさせていただいております。令和八年度に郡山
商工会議所青年部が掲げたスローガンは、「温故知
新く未来を見据え、次代のために」。郡山に対する誇
りと愛着、それを次世代の子供たちに伝えていくこ
と。郡山の未来を担う次世代が笑顔で暮らし、誇り
を持つ『郡山に生まれてよかった』『郡山を選んで
よかった』と思ってもらえるように活動をしており
ます。各委員会に様々な事業を計画しております。
会員の足並みをそろえる事業や、会員同士の交流の
場、郡山のお祭りを一緒に盛り上げる事業、子供た
ちの未来を応援する事業、さまざまな事業がありま
すが、全ては郡山という街を活性化させたい。子供
たちに郡山を好きになってもらい、将来郡山を選ん
でほしいというところに繋がっています。

研修委員会の役割は会員の研鑽の機会を提供す
ることです。まずは郡山の歴史を知ることです。
これから歴史情報博物館にて、郡山の歩みを学ん
でまいります。郡山の歴史には驚くような歴史がある
ようです。

荒川 幸子

「驚」という字は、特に敏感で驚きやすい動物であ
る「馬」と、音を表す「敬（ケイ）」が組み合わさっ
てできた漢字だと言われています。子供の頃は、何
故、馬を敬うと書いて「驚く」なのか…不思議に思
ったものです。今ならウイキペディアやAIがすぐ
に教えてくれるのですが。

つい先日、「三大テノールの競演」を鑑賞する機会
に恵まれ、三大テノールと称される樋口達也さんが、
娘と同じ小学校、中学校を卒業されていたことを知
りました。先輩にこんな偉大な方がいらつしやっ
たなんて、まさに驚きです。今回の公演は、樋口さん
の母校に通う中学生・高校生を対象に、無料観覧席
を大七酒造さんのご厚意で用意いただきました。
私は保護者として、その恩恵に与った次第です。ふ
くしん夢の音楽堂・大ホールに響き渡る樋口さんの
声は本当に素晴らしい、あつという間の約二時間
でした。樋口達也さんは、武蔵野音楽大学を卒業、同
大学院修了後に渡伊。一九九八年にハンガリー国立
歌劇場「ラ・ボエーム」でヨーロッパデビュー。翌
年にはイタリアオペラ界の最高峰とされるミラノ・
スカラ座に出演。その他、世界各地で多数のオーケ
ストラと共演し、成功を収めています。国内でも
新国立劇場、二期会を中心に大役を演じ、抜群の存
在感で多大な評価を受けています。今回は、樋口さ
んの他に、ジョン・健・ヌツツオさん、笛田博昭さ
んが出演し、約十五曲を熱唱。最後は、観客のほぼ
全員がスタンディングオベーション、そして、「ブラ
ボー」や「ブラーヴイ」のかけ声と共に、割れんば
かりの拍手で三人を讃えました。あの会場の一体感
と熱気は、今も鮮明に脳裏に焼き付いています。
私たちの日常には、小さな驚きが数多く存在して
います。この歳になっても知らない事が沢山あり、
日々、反省したり、落ち込んだり、はたまた喜んだ
り。感情の機微は、複雑で難解なものです。でも大
切なのは、まず驚く（「気が付く」）ことではないでし
ょうか。私は、今後も失敗を恐れず、耳を澄まし、
目を凝らし、気持ちを言葉にし、心を震わせながら、
人の機微を理解できるよう精進したいと思っています。

【編集後記】

季節は少しずつ夏に向かっていきます。もう一年
の半分が近づいていることに驚きます。気温差の
ある時期ですので、どうぞ体調に気をつけてお過
ごしく下さい。